

2004～2008 年度「化学・生物総合管理の再教育講座」講師アンケートから (抜粋)

1) 再教育講座の意義

- 1-1 再教育講座は本来のあるべき社会人教育の姿を示しており重要である。講座の普及のため頑張してほしい。
- 1-2 日本は社会人教育の場が少なく、大変貴重な場である。
- 1-3 これだけ広い範囲の知識を得られる講座は他にはない。
- 1-4 このような講座が多くの大学で展開されれば、社会を支えていく人々の層を豊かに育む土壌が培える。
- 1-5 こうした社会教育事業を大学が積極的に進めていくことを希望する。
- 1-6 このような事業こそ税金の有効活用である。

2) 科目構成上の改善点

- 2-1 一般社会人への講義は、受講者の知識水準が様々であるため、講義の難易度の調節が難しい。
- 2-2 科目内での各講義間の情報交換や連携が難しく、講義内容の重複やレベルの不均一が生じている。
- 2-3 単位取得や資格取得などのインセンティブが作れないか検討する必要がある。

3) 講師にとっての有用性

- 3-1 社会人が夜の自分の時間をつぶしてまで勉強しようという意欲には頭がさがり、刺激された。
- 3-2 社会人がどういう観点から問題を捉えているのかが、よく理解できた。
- 3-3 種々な職種の人の見方がわかった。
- 3-4 自分が見落としていること、自分と異なる意見を持っている方の考え方を知ることができ、自分の専門分野をより広い目で見ることができるようになる。
- 3-5 世の中の人々がさまざまな捉え方をするという垣間見ることができ、よい経験ができた。
- 3-6 各講師のコミュニケーション能力の強化にも資する。